

取扱説明書

リヤショック



警告！

この取扱説明書には、リヤショックの正しい取り付け、サービス、およびメンテナンスに関する重要な情報が記載されています。SR SUNTOURのショックを取り付け、整備し、そしてメンテナンスするために、特別な知識や工具を使用する必要があります。一般的な機械的知識のみでは、リヤショックを修理、またはメンテナンスするのに十分ではない場合があります。そのため、トレーニングを受けた有資格のバイク整備士が、リヤショックを取り付け、修理、またはメンテナンスすることを強くお勧めします。不適切な取り付け、サービス、またはメンテナンスは、製品の故障、事故、怪我、または死亡につながる可能性があります。

概要.....	2
安全に関する重要な情報.....	4
ご乗車の前に.....	5
リヤショックの取り付け.....	6
標準的なセッティング.....	7
空気圧と「サグ」.....	8
エアボリューム調整機構：Triair.....	9
リバウンドダンピングの調整.....	10
C3コンプレッションシステムの調整：Triair.....	11
コンプレッションダンピングの調整.....	12
リモートロックアウトの使用法.....	13
ロックアウトの使用法.....	14
メンテナンス.....	15

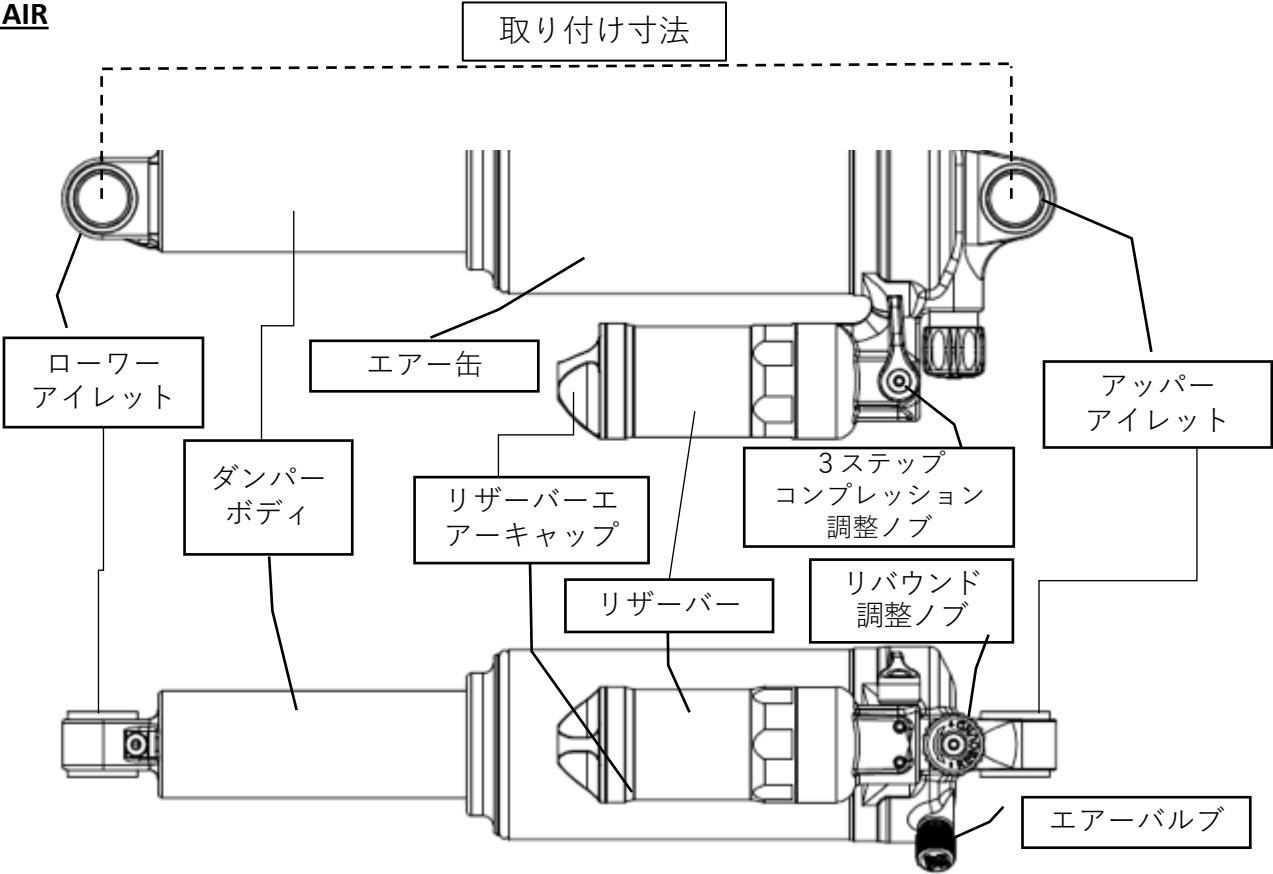


当社のウェブサイトには、CN、DE、EN、ES、FR、IT、JP、NLの言語オプションがあります。次の場所に移動してください：

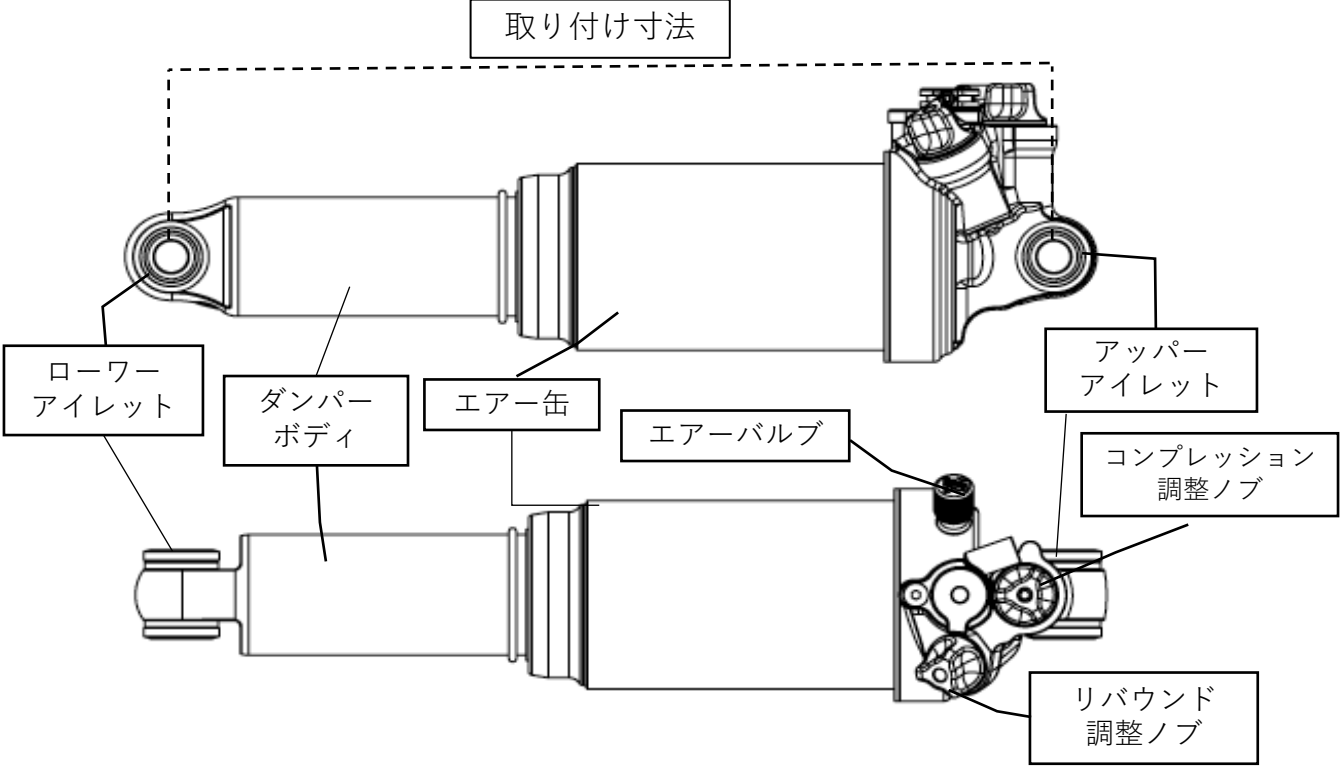
www.srsuntour-cycling.com > Service > Download area > Consumer Downloads > Bike > Owners manuals > General Rear Shock Manual

概要

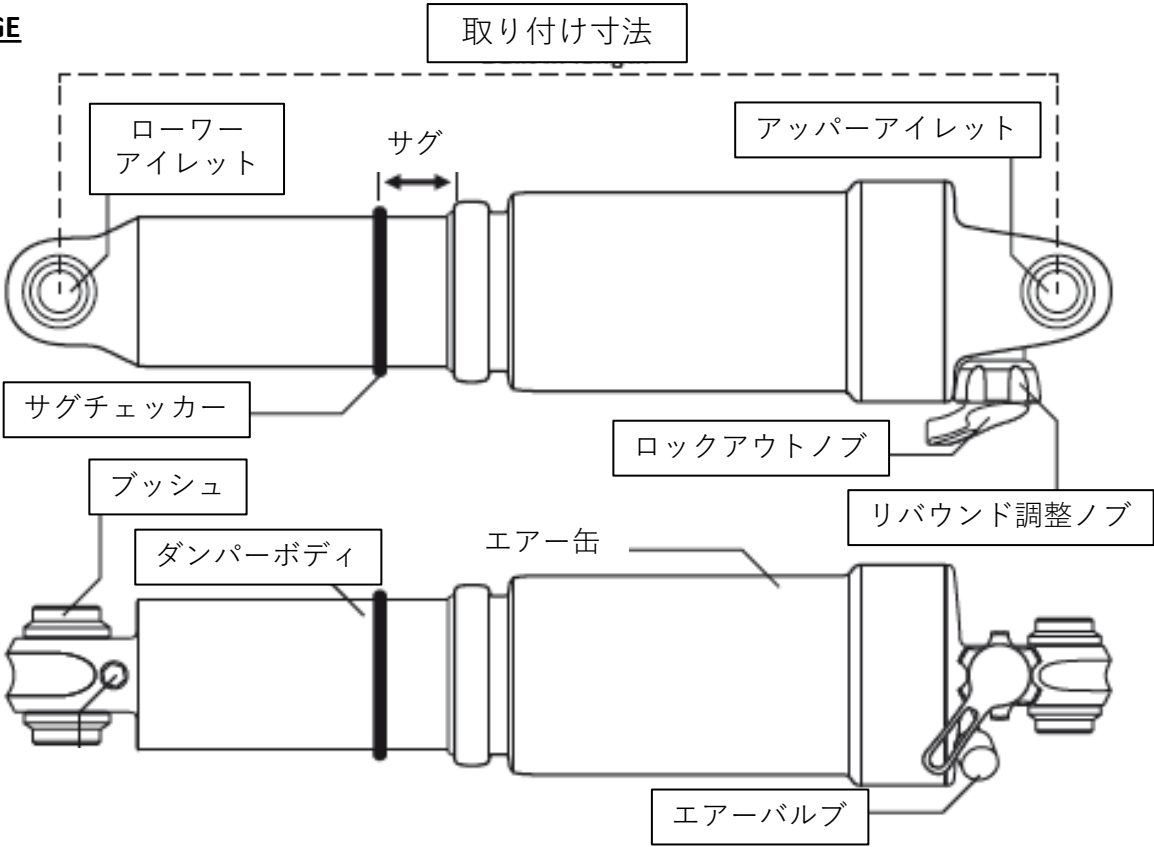
TRIAIR



EDGE-TT



EDGE



RAIDON



安全に関する重要な情報



警告！

すべての警告および安全に関する説明に十分ご注意ください。誤って取り扱った場合、製品が誤動作し、事故、重大な人身障害、またはライダーの死亡の原因となる可能性があります。

- リヤショックを使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。
- SR SUNTOURのリヤショックには超高压の液体やガスが使われています。誤った取り扱いは、重大な人身事故もしくは死亡事故の原因となりうるので、SR SUNTOURのリヤショックを決して分解しないで下さい。
- 純正のSR SUNTOUR部品のみを使用してください。サードパーティのサプライヤスペアパーツを使用した場合、当社リヤショックの保証が無効になります。またそのような使用は、万が一の事故、けが、さらには死亡につながる可能性があります。
- SR SUNTOURのリヤショックは、乗員1名による使用を前提に設計されています。



警告！

記載されている指示内容には、お使いのリヤショックの正しい取り付け方や点検・整備、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。一般的な機械知識では対応できない場合がありますので、お使いのリヤショックの取り付けや点検・整備は、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が専用の工具を使用して行う必要があります。

- 常に適切な安全装備品を装着してください。これには、適切にフィットする様に装着できるヘルメットが含まれます。ライディングスタイルに応じて追加の装備品を使用する必要があります。お使いの装備品が完璧な状態であることを確認してください。
- フレームの寸法と個人的な乗車スタイルに応じて、適切なリヤショックを選択してください。フレームの形状と一致しないリヤショックを取り付けると、サスペンションシステムまたはフレーム自体が故障する可能性があります、製品に対する保証が無効になります。
- 個人の技術レベルと経験の限界を知ってください。限界を超えるような使用は決してしないでください。
- 完成車およびそこに装着されているコンポーネントと共に提供されるすべての取扱説明書を読み、理解してその内容に従ってください。



警告！

当社は、訓練を受けた有資格の自転車整備士によるリヤショックの取り付け、メンテナンス、および修理を行うことをお勧めします。

ご乗車の前に



警告！

重大な人身傷害または最悪の場合、死亡事故を防止するために、次の基準のいずれかが満たされていない場合は、自転車に乗らないでください。必ず適正な状態に修理してからご乗車ください。

- ハンドルバー、ペダル、クランクアーム、シートポスト、サドルなどの自転車とサスペンションシステムを検査して、亀裂、凹み、曲がった部分または変色した部分がないかどうかを確認してください。また、衝撃によるオイルの漏れがないか点検してください。自転車の裏側の隠れた部分も確認してください。いずれかの状態が存在する場合は、訓練を受けた資格のある自転車の整備士に相談し、原因を特定し、必要な修理を行ってください。
- あなたの体重でリヤショックを圧縮してください。正確なサグポイントに達するまで、適切なレベルまでポンプでエア圧を調整してください。その際、“サグの設定”の章も参照してください。
- ブレーキが正しく取り付けられ、調整され、正しく作動することを確認してください。
- クイックリリースシステムを使用してホイールセットを固定する場合は、すべてのレバーとナットがきちんと締められていることを確認してください。スルーアクスルシステムを使用している場合は、すべての固定ボルトが適切なトルク値で締め付けられていることを確認してください。クイックリリースのメーカーまたはアクスルシステムの取り扱い説明書の指示に厳密に従ってください。
- ケーブルの長さや配線を確認してください。自転車のステアリングに干渉しないように注意してください。
- 公道や自転車専用道路を走る場合はリフレクターを正しく取り付けられていることを確認してください。
- 自転車を地面にバウンドさせながら、緩んでいる箇所がないことを目と音で確認してください。

リヤショックの取り付け

今お持ちの古いリヤショックを、SR SUNTOURのリヤショックに交換して、あなたのバイクをアップグレードするためには、以下に述べる手順に従ってください。尚その新しいSR SUNTOURリヤショックへの交換作業に際しては、資格のある訓練を受けた自転車整備士によって取り付けられることを強くお勧めします。

1. 「取り付け寸法」、ストローク、および取り付け用スペーサーが、元々取り付けられているリヤショックと同じであることを確認してください。「取り付け寸法」とは、上側固定ボルトの中心から下側固定ボルトの中心までの距離のことです。2-3ページの図も参照してください。
2. 自転車から古いリヤショックを取り外します。フレームとスイングアームの内側表面を清掃し、汚れを取り除き、すべての表面がきれいであることを確認します。



警告！

新しいリヤショックの取り付け寸法が、元のリヤショックの取り付け寸法よりも長いと、乗車時寸法が変わります。これにより、ステアリングの変化の問題や、足を地面につくことが困難になるくらいBB～地面間距離が高くなりすぎる状況になる可能性があります。逆に、あなたが最初に装着していたリヤショックより短いショックを装着すると、逆の同じような不具合を生じる可能性があります。これらすべてが、コントロールの喪失や重大な怪我、さらには死亡につながる可能性があります。

3. アルミニウムブッシュの内径と外径、および幅が正しいことを確認して、フレームとスイングアームに遊びがなく、リヤショックが正しく固定されているかご確認ください。
4. エアを全て抜き、新しいSR SUNTOURリヤショックを動かして、スイングアームがフルストロークするかどうか確認します。リヤショックと他のすべてのコンポーネントとの間に十分なクリアランスがあることを確認してください。また、リヤショックとシートポストが下がっているときのクリアランスも確認するようにしてください。どの位置でもリヤショックがシートポストに当たらないように、十分注意してください。
5. 自転車またはフレームメーカーの推奨締め付けトルクに従って固定ボルトを締め付けてください。



警告！

リヤショック、シートポスト、スイングアーム、フレーム間のクリアランスが不十分だと、バイクのコントロールが失われたり、重傷を負ったり、あるいは死に至ることさえあります。

標準的なセッティング

下記はSR SUNTOURのリヤショックの工場出荷時の空気圧初期設定値です。これらはあくまで初期設定値であり、設定の詳細はライダーの技能、トレイルの状態、フレームのデザイン、および個人的な好みによって異なります。リヤショックを設定した後、サグをチェックして、推奨サグ設定の範囲内にあることを確認してください。

乗手手の体重 (kg)	推奨エア圧 (psi)				
	Triair		EDGE-TT	EDGE	RAIDON
	メインボディ	リザーバー	メインボディ	メインボディ	メインボディ
エア圧（工場出荷時の設定値）	180	200	200	110	110
最大エア圧 (psi)	300psi	240psi	300psi	300psi	300psi
注意：上記の数値は参考値です。正しい空気圧は、SAGをチェックして個々に調整する必要があります。					

エア圧はフレームの取り付けレシオによって異なる点に注意してください。これはあくまで初期設定値であり、最終調整は次のページにあるサグを確認しながら設定してください。

空気圧と「サグ」

サグとは、装備（バックパックなど）を含むライダーの体重、乗車位置、およびフレームのジオメトリーによって生じる圧縮であり、乗車のみによるものではありません。乗車位置や、ライダーの体重は各々異なりますので、リヤショックのサグは状況によって変わります。リヤショックを適切に機能させ、その性能を妨げないようにするには、適切なサグを設定することが、リヤショックの適正なエア圧を見つける唯一の方法です。



エア圧の設定と「サグ」

1. サグに影響を与えないようにするため、コンプレッションとリバウンドの減衰を最小限に抑えます。バルブキャップを外し、フォーク/ショックポンプをバルブにねじ込みます。
2. リヤショックを適切なエア圧まで上げます。推奨最大空気圧を超えないようご注意ください。
3. 「サグ」レベルを正しく認識するために、ダンパー本体にOリングか、又はジップタイを取り付けます。ダストシール部までスライドさせます。通常の乗車位置で自転車に乗って「サグ」を確認します。必要に応じてエアを追加または抜き取ってください。
4. 「サグ」を測定するために、自転車に乗車し、静止することができるよう壁にもたれかかってください。



ショックトラベル (mm)	推奨サグ (%)
30 - 45	15 - 25
50 - 75	20 - 25



警告！
不適切なエア圧で自転車に乗ると、コントロールが失われ、重傷を負ったり死亡事故に至ることさえありますので十分ご注意ください。

最大エア圧300psi（20bar）を超えないようにしてください。これを超えると、リヤショックの破損、もしくは重大な怪我につながり、SR SUNTOURリヤショックの保証を無効にする可能性がありますので、十分ご注意ください。

エアボリューム調整機構：Triair

エア圧の調整をしても不十分な場合、Triairのエアシステムのスプリングカーブは、エアボリュームスパーサーを使って調整することができます。正しいサグを見つけるために適正なエア圧にする必要があります。もし、激しくボトムアウトしているならば、エアボリュームスパーサーを調整することで、リヤショックのエアカーブをコントロールできます。

1. メインボディからすべての空気を抜きます。エアチャンバーの下にあるOリングを取り外します。Oリングを傷つけないように注意してください。

2. HV（ハイボリューム）エアスリーブを回しながら下に押し、取り外してください。

3. 必要な量のエアボリュームスパーサーを追加または取り外します。メインボディを取り付け直し、隙間がないように密閉されていることを確認します。Oリングを取り付け直すと乗車の準備が整いました。

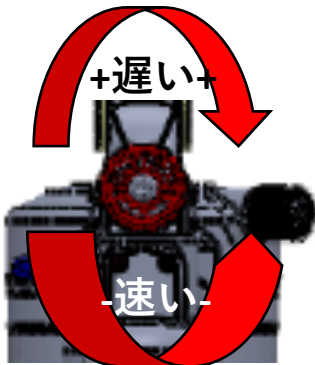
エアボリュームスパーサーの追加

エアボリュームスパーサーを追加すると、エアショックがよりプログレッシブな動きになります。よりプログレッシブな動きにすることで、ボトムアウトを防ぎつつ、ショックのストロークが最後まで機能できるようになります。

エアボリュームスパーサーの取り外し

エアボリュームスパーサーを取り外すと、エアショックがより直線的な動きになります。より直線的なセッティングは、リヤショックのストローク全体を使いやすくします。フルストロークしない場合、またはストロークの終わりに向かって動きが非常に固くなる場合は、エアボリュームスパーサーを取り外すとそれを軽減できます。

リバウンドダンピングの調整（赤いノブ）



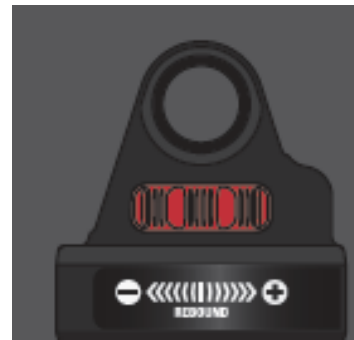
TRIAIR



EDGE-TT



EDGE



RAIDON

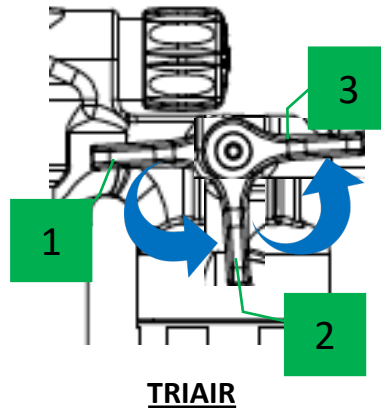
リバウンドの調整

リバウンドとは、ショックの圧縮後に来る衝撃の速度を制御することです。リバウンドの制御は、使用されるエア圧の量に比例します。エア圧が高ければ高いほど、リバウンドダンピングが必要となり、エア圧が小さければ小さいほど、リバウンドダンピングが少なくすすむので、それに応じて調整してください。

遅い＝より強いリバウンドダンピング

速い＝より弱いリバウンドダンピング

C3コンプレッションシステムの調整：Triair（青いノブ）

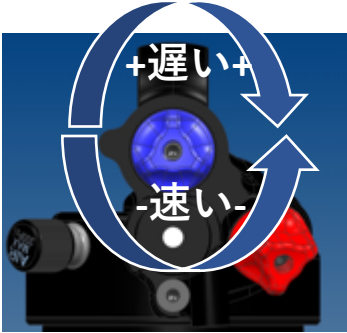


C3コンプレッションシステムの調整

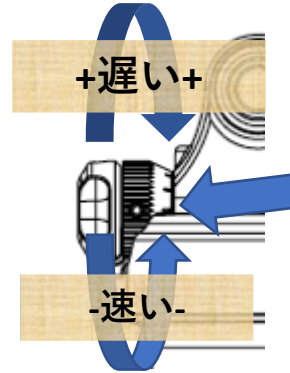
SR SUNTOUR Triairショックは、3ポジションのコンプレッション設定を可能とし、どんなトレイルコンディションでも、コンプレッションダンピングを素早く簡単に調整できます。

1. コンプレッション"OPEN"：コンプレッションダンピングを減らし、オイルの流れをスムーズにすることで、ショックの動きを最大限敏感にします。オープンポジションにすると、より軽量のライダーや、最大のトラクションが要求される乾いたほこりの多い地形にも最適です。
2. コンプレッション"MEDIUM"：トレールをクルーズライドする場合のモードです。アクティブにライディングする必要があるトレイルのセクションで、しかもまだ良いペダリングプラットフォームを維持したい場合に最適です。
3. コンプレッション"FIRM"：クライミング時に発生しがちな、サスペンションのバンピーな動きを低減したり、体重が重くアグレッシブな走りをするライダーが、ダウンヒル時に最大限のサポートを必要とする場合に最適です。FIRMポジションは、ロックアウトではありませんが、荷重が増えたりペダリングによるサスペンションの動きを緩慢にする効果をもたらします。

コンプレッションダンピングの調整（青いノブ）



EDGE-TT



EDGE-RC

お持ちのSR SUNTOURリヤショックは、コンプレッションダンピング調整機能を使用することで、あなたのお好みのセッティングと、お乗りになっている地形に従っての調整が可能になります。この機能はリヤショックの圧縮スピードの制御を行います。

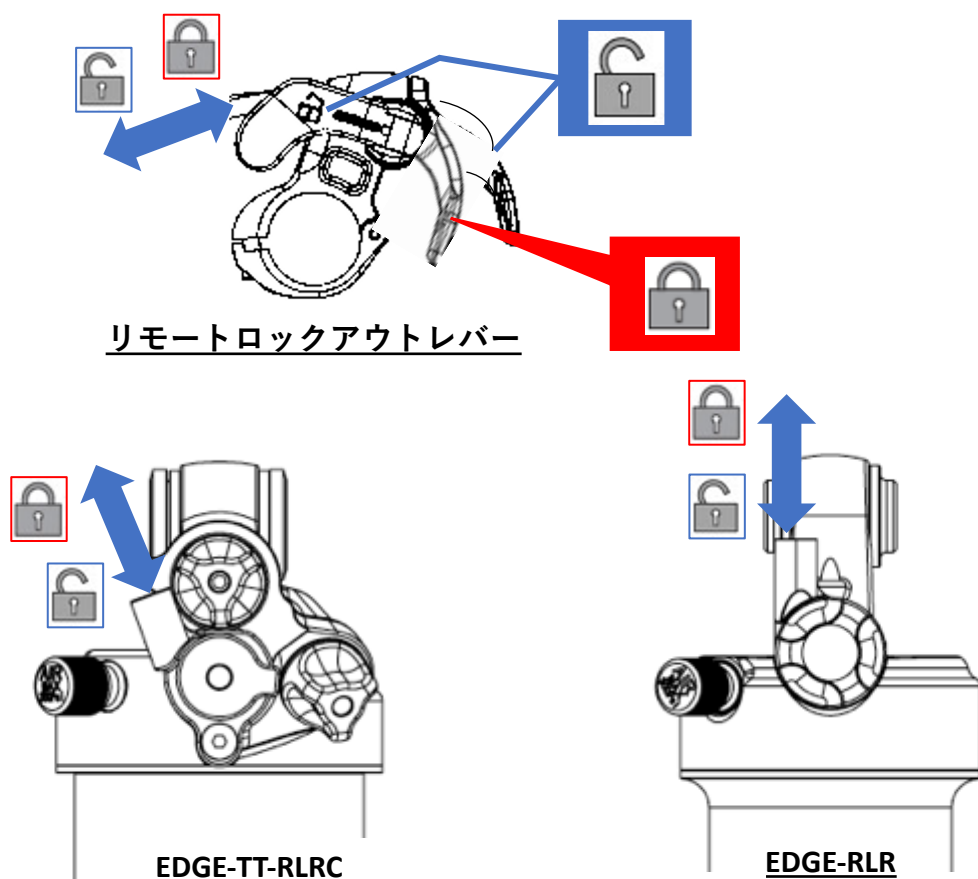
- **小さくて速い衝撃が多い地形を走行する場合：**

最大限のホイールトラクションと敏感な衝撃吸収を実現するために、速目のセットアップを選択してください。このモードでは、あなたのリヤショックはあらゆるバンプにかなり敏感に且つ速く反応します。大きな凸凹や、大きな岩のあるような地形では、この設定を選択しないでください。リヤショックのボトムアウトのリスクが高くなるためです。

- **大きな凸凹や大きな岩があるような地形を走行する場合：**

遅めのセットアップを選択してください。このモードの場合、リヤショックは圧縮時、ゆっくりした動きになります。そのため、ボトムアウトを減らし、最大の衝撃吸収を可能にします。但し小さくて細かい凸凹の地形の場合にこのモードを使用すると、トラクションに悪影響をもたらします。さらに、衝撃の少ない地形で遅く/硬い設定をした場合、リヤショックは、フルストロークしない場合があります。

リモートロックアウトの使用法



ハンドルバーから手を離すことなくグリップを握りながら、ハンドルバーのリモートレバーからリモートロックアウト機能の操作を行うことができます。リモートレバーはロックとロック解除機能を有します。

ロックアウト機能は、大きな衝撃やダウンフォースの力が発生しノーズダイブのようになるような状況を防止します。衝撃力がカートリッジのブローオフ回路の抵抗を超えると、衝撃は吸収されます。ロックアウト機能を使用すると、滑らかな地面や起伏のある地形で、ポンピング状態を防ぎ、最大のペダリング効率を実現します。

注記：

RLR: 100%ロックアウト

RLR8: 80%ロックアウト

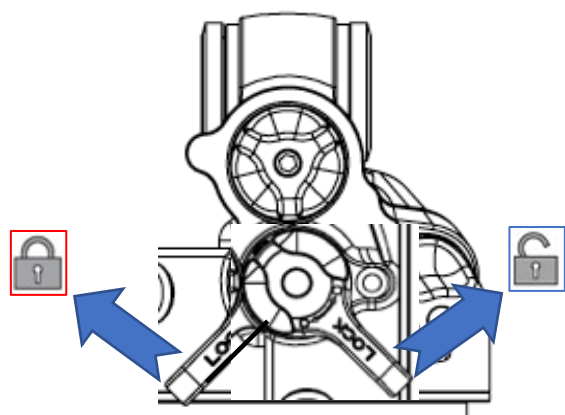


警告！

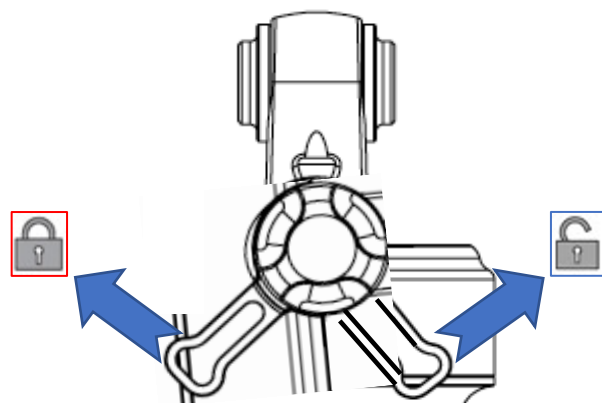
衝撃の多い地形での走行中、つまりサスペンションが非常に必要なときは、絶対にリヤショックを「ロックアウトモード」に設定しないでください。

もしロックアウトにしたままそのような状況で走行した場合、高荷重下での衝撃により、リヤショックが破損する危険性があります。これはまた、事故、怪我、さらにはライダーの死亡につながる可能性があります。

ロックアウトの使用法



EDGE-TT-LORC



EDGE-LOR/LOR8

ロックアウト機能は、大きな衝撃やダウンフォースの力が発生しノーズダイブのようになるような状況を防止します。衝撃力がカートリッジのブローオフ回路の抵抗を超えると、衝撃は吸収されます。ロックアウト機能を使用すると、滑らかな地面や起伏のある地形で、ポンピング状態を防ぎ、最大のペダリング効率を実現します。ロックアウト機能を使用するには、ロックアウトノブを操作します。

注記：

LOR: 100%ロックアウト

LOR8: 80%ロックアウト



警告！

衝撃の多い地形での走行中、つまりサスペンションが非常に必要なときは、絶対にリヤショックを「ロックアウトモード」に設定しないでください。もしロックアウトにしたままそのような状況で走行した場合、高荷重下での衝撃により、リヤショックが破損する危険性があります。これはまた、事故、怪我、さらにはライダーの死亡につながる可能性があります。

メンテナンス

SR SUNTOUR リヤショックはメンテナンスが簡単なように設計されています。ただし、可動部分が湿気や汚れにさらされている限り、何度か走行した後では、リヤショックのパフォーマンスが低下する可能性があります。定期的にメンテナンスがなされていない場合、メーカー保証の対象とならない恐れがありますので、十分ご注意ください！

- 水がダストシールの隙間からリヤショックに入る可能性があるため、リヤショックを清掃する場合、高圧の洗浄機器やハイプレッシャーの水をダストシールレベルに使用しないでください。刺激性のあるクリーナーを使用しないでください。リヤショックを手入れするには、真水と湿った布をお奨めします。
- リヤショックの性能、安全性、長寿命を維持するためには定期的なメンテナンスが必要です。
- 悪天候（もしくは冬季）及び厳しい地形で走行した場合、下記のようにリヤショックを定期的メンテナンスしていただくようお勧めします。
- リヤショックの性能が変化していたり、操作具合が変化したと思われる場合は、直ちに販売店に連絡してリヤショックを点検してください。
- 毎回乗車後：オイルを含んだ布を使用して、ダンパー本体とダストシールを清掃してください。ダンパー本体に凹み、傷やその他の変色や油漏れがないか点検してください。
- 毎回走行後：メンテナンス 1
- 50 時間の走行後：メンテナンス 2（販売店にご依頼ください。）
- 100時間走行後又は1年に1回：メンテナンス3（天候の影響からすべての部品の保護のため、グリースアップ等をお勧めします。販売店にご依頼ください。）

	メンテナンス 1 (毎回走行後)	メンテナンス 2 (定期的)	メンテナンス 3 (100 時間の走行 毎 / 毎年)
中性洗剤と水だけで外側をきれいにし、柔らかい タオルで拭いて乾かします	○		
目視で、衝撃による損傷がないか調べる	○		
コントロールノブ類の機能を確認する	○		
空気圧を確認してください（エアーストックの場合、 時間の経過とともに自然と空気が抜けて圧力が 下がります）		○	
サグとダンパーの設定を確認する		○	
取り付けナット・ボルト類が、適切なトルクで取 り付けられているか確認してください		○	
リヤショックの分解メンテナンス及びエアシール 交換を含むフルショックサービス			○



警告！
SR SUNTOUR のリヤショックはオイルと窒素ガスが充填されています。従って分解作業等の実行時、その作業方法に関する知識と特別なツールを持っていない場合、リヤショックの分解作業をしないでください。重大な怪我をする危険性が非常に高いため、修理目的を含むリヤショックの分解を決して行わないで下さい。それに加えて、一度分解したリヤショックを再組み立てしないようにして下さい。一度分解されたリヤショックは保証の対象にはなりません。万が一、リヤショックに問題がある場合は、販売店に連絡してください。

カスタマーサポートオフィス

アジア・オセアニア

SR SUNTOUR INC.

#7 Hsing Yeh Road
Fu Hsing Industrial Zone
Chang Hua, Taiwan, R.O.C.
Tel: +886-(0)4-769-5115
service@srsuntour.com.tw

SR SUNTOUR INTERNATIONAL CO., LTD.

No. 1500 Honghu Road, Penglang
Kunshan, Development Zone
Jiang Su Province, China ZIP 215333
Tel: +86-512-5517-1127
sr-service@srsuntour.com.cn

SRS INTERNATIONAL TRADING LTD.

Room 501, 5th floor, Building No. 2
Jiaxing Industrial Zone, Shubei Road
Gongming Town, Guangming District
Shenzhen City, China 518106
Tel: +86-755-271-084 83
service@srsuntour.com.cn

SR SUNTOUR ジャパン

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-13-13
NRビル 4F
Tel: +81-3-5829-9211

ヨーロッパ

SR SUNTOUR EUROPE GmbH

Riedstrasse 31
83627 Warngau, Germany
Tel: +49-(0)802-150-793-0
service@srsuntour-cycling.com

SR SUNTOUR Technical Service Center

Max-Planck-Str. 4
97526 Sennfeld, Germany
Tel: +49-(0)9721-473-4896
service@srsuntour-cycling.com

SAV SR SUNTOUR FRANCE

604 voie Galilee
73800 Sainte Helene du Lac, France
Tel: +33-(0)981-241650
sav@srsuntour-cycling.com

アメリカ

SR SUNTOUR North America Inc.

7509 S. 5th Street Suite 124
Ridgefield, Washington 98642
Tel: +1-360-737-6450
Sales: ssna@srsuntourna.com
Service, warranty: service@srsuntourna.com

SR SUNTOUR Madison

910 Watson Avenue
Madison, Washington 53713 USA
Tel: +1-608-229-6610
service@usulcorp.com

ウェブサイト

詳細はwww.srsuntour-cycling.com。または、以下をご覧ください：

- ◆ サービスリクエスト：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/service-request>
- ◆ マニュアルビデオ：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/tech-videos>
- ◆ ダウンロード可能資料：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/download-area>
- ◆ 取扱説明書：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/download-area/consumer-downloads/bike/owners-manuals/>
- ◆ 保証関係：<http://www.srsuntour-cycling.com/service/warranty>